

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
 大字金木字朝日山323
 電話☎2111(代表)内線40



あけましておめでとうございませう。

新しい年を迎え、今年一年の目標はお立てになったでしょうか。

昨年の経験、反省をいかしてよい年にして下さい。

町民のみなさんが健康で明るく、すばらしい年でありませうように――。



金木町民憲章

- 一、ふるさとの自然を大切にし、美しい町をつくりませう。
- 一、心とからだを鍛え、さわやかな町をつくりませう。
- 一、伝統ある文化を高め、明るい町をつくりませう。
- 一、きまりを守り助け合い、幸せな町をつくりませう。
- 一、働くことに喜びと誇りを持ち、うるおいのある町をつくりませう。

(昭和六十年八月一日制定)



心新だ'89年



新しい年を迎え、本年はよき年でありませう先ずは衷心より御祈念申し上げます。

冷害と不況で凍てついた年を越して新年を迎えるに当り、皆様にはまた心機一転、想い新たなこの日々かと存じます。

昨年の米作は減反増、そして不作、加えて品質低下、価格引下げ等が重なり、実に前年度より町全体で四億四千万円の減収となりました。この額は町民一年分の税収に等しく、又一方野菜・果物から、商工業各界の売



金木町長 大橋 忠勝

—豊かで住み心地のよい町づくり—

くばかりの賑いがあります。

此頃の国づくりは、休みなく働いて更に出稼ぎをしてやっと生活している農村の人々、借金に埋もれて苦悶している人々を救済することこそ、第一の急務と考えます。

寒くて空の暗いこの金木町が、もっと住み心地よい町となるよう、只その事を念じつつ本年も頑張りたいと存じます。

上げまで一貫して不況の年でありました。

農村は益々貧しく寂しく、一方都市は週五日働くだけでボーナスまで支給される人々で溢れ、花咲



芦野公園内「桜松橋」(延長128m)

おめでとう!! 生まれます。



新年号特集



芦野陸上大会で一位が目標
喜良市小5年 桑田貴子さん(S.52生まれ)

去年は、かぜをひいたりケガをしたりして家族に心配をかけた一年でした。今年は何も休まずに、桜まつりに行なわれる芦野陸上大会で一位をとれるよう頑張ります。



真実ちゃん

おいのめぐよ
1月1日で満1歳

嘉瀬小栗崎
工藤清司さんの次女

わたしの年 こんな一年に したゆ



健康で活気のある一年に
嘉瀬新誠町 今君弘さん(S.28生まれ)

去年も仕事に追われた一年でしたが、趣味の「凧あげ大会」で二年連続優秀賞をとれたのがうれしかったですね。今年も、前人未踏の三年連続優秀賞を狙ってみたいですね。



健康で活気のある一年に
小川町 白川恵子さん(S.16生まれ)

去年は、これといって変わりばえのない一年でしたが、家族全員が健康で過ごせたことがとりにえした。今年も、みんなが健康で活気のある年にしたいですね。できたら景気がよければ最高なんですけどね。



ヨーロッパでの経験生かし...
スキー大会制覇
川倉小6年 白川豊人君(S.52生まれ)

去年は、夢であった夏のヨーロッパスキーツアー、四十日間に参加できて最高の年でした。今年、ヨーロッパでの経験を生かして必ず大きな大会を制覇するぞ!



健康で明るく働ける年に
川倉上宇田町 三瀧照子さん(S.16生まれ)

去年は、実家のおばあちゃん、家のおじいちゃん、相次ぐ入院の看病で一年があつという間に過ぎたような年でした。今年も、家族みんなが健康で明るく働けるような年をしたいと思います。



「大豊作」を期待する
喜良市下柏木町 古川浅四郎さん(T.6生まれ)

去年は、冷夏冷害の影響で収穫した米のほとんどが二等米までに落ち込んだ年でした。今年こそは天候にも恵まれて、「大豊作」の年であってほしいですね。



人生の記念になる旅行を
嘉瀬上昭和町 小山内伴子さん(S.16生まれ)

去年は、東京と北海道に嫁いでいる姉妹の所へはじめて遊びに行くことができ、とても充実した年でした。今年、人生の記念になるような海外旅行でもしてみたいですね。



明けて み 巳 年

「奴とつふ」奴みそ」の販路拡大に



嘉瀬上古町
中村正俊さん(S.4生まれ)

去年は、手づくりの「奴とつふ」「奴みそ」の製造販売をしようやく一年たち、どうやら軌道に乗った年でした。
今年、昨年以上に販路を拡大したいですね。

一生心に残る一年に



栄町
工藤由美子さん(S.40生まれ)

去年は、親に待望の新車を買ってもらい、友達とワイワイ十和田湖へ出かけたのが一番楽しかったですね。今年、人生の節目として、スズキナ彼を見つけて、一生心に残るような一年にしたいですね。

大鯛釣りに挑戦……



蔦田
泉谷喜代雄さん(S.4生まれ)

去年は、三度の飯より好きな釣りで、二尺もある鯉二匹を田十川で釣ったのが最高でした。
今年、一度も釣ったことがない鯛にでも挑戦してみたいですね。

「野菜づくり」にも取り組んでみたい



更生部落
佐々木京子さん(S.16生まれ)

去年は、ヤマセの影響で葉たばこ、水稲の収量が落ち込んだ年でした。
今年、じゃがいも、そら豆などの「野菜づくり」にも本格的に取り組んでみたいと考えています。

孫を見れるよう健康な一年を



川倉下宇田野
泉谷信太郎さん(M.38生まれ)

去年は、神奈川、千葉にいる孫がお盆に遊びに来てくれて、充実した二年を過ごすことができました。
今年もまた元気で、孫の顔を見れるように長生きしたいですね。

「陸上部」で活躍するのが夢



嘉瀬小6年
伊藤咲子さん(S.52生まれ)

去年は、運動会のマラソン大会で念願の一位になれたのがいちばんうれしかったです。
今年、中学校へ入学するので、陸上部に入って活躍するのが夢です。

「生徒会長」として明るい学校に



金木小5年
徳田 貢君(S.52生まれ)

去年は、「少年自然の家」での合宿がいちばん楽しかった思い出として印象に残っています。
今年、生徒会長になることになったので、いじめがなく、明るい学校にするよう一生懸命頑張ります。

社会に役立つことを一つでも



藤枝
成田さよさん(T.6生まれ)

去年は、主人がケガをしてあまり喜ばない年でしたが、二人目の孫が生まれたことが朗報でした。
今年、何よりも健康で社会に役立つようなことを一つでもしてみたいですね。

子供たちと一緒に一年を



美晴町
小野正道さん(S.28生まれ)

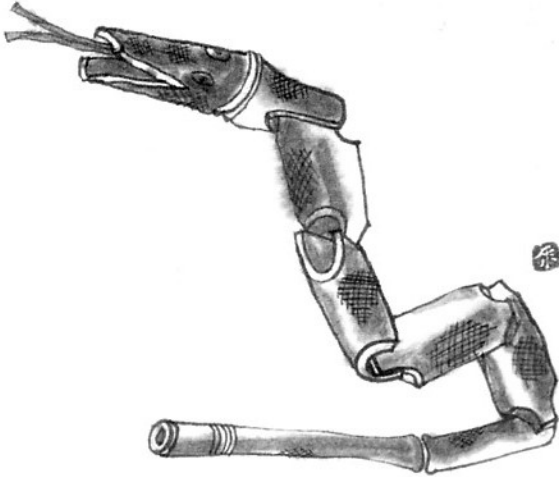
去年は、桜まつりの時出張から帰って来て、その後実家の製材業に追われてあつという間の一年でした。
今年、景気がよく、子供たちといつも一緒に過ごせる一年にしたいですね。

今年 は巳年

今年 は巳年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇と聞いたただけで、嫌悪感をもちます。蛇は、

蛇と聞いたただけで、嫌悪感をもちます。蛇は、いるようですが、それは多分にあるグロテスクな姿のせいです。脚部の退化・消失してしまつた細長いからだだが、S字型を書くようにくねくねと動く様子は、蛇独特のもので、あの細長いからだで、内臓はどうなっているのだろうか?……ご心配には及



びません。内臓も体に合わせ、細く伸びているほか、腎臓など本来は左右にあるべきものが、前後に位置を占めておさまっているそうです。蛇は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拜

と畏敬の対象でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多くみられます。

例えば、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。また、白い蛇を家の神とする信仰も各地にみられます。

ところで、蛇は集団をつくらないといわれます。蟻などのような社会組織や集団生活の例は、まったく知られていないということです。いつも「ひとり」で孤独な生活をしています。そのため、異性と出会う機会がたいへん困難だということですね。ちよつとさびしい話ですね。

ところで、蛇は、生間すつと成長し続けます。発育にもなつて、古い皮は三か月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのと取り換えられる——脱皮です。お正月を機に今年こそは新しい試みをと、脱皮を心がけておられる方、うまくいくといいですね。

年の始め

家族みんな

交通安全について話し合おう

交通事故でけがをしたりする人は、毎年約七十三万人にもおぼります。これらの事故をよく調べてみると、起こるべくして起きた事故がほとんどです。そして、事故の原因の多くは、交通ルールは十分知っているけれど、つい無理をしてしまったというものが圧倒的です。

交通事故を防ぐには、毎日の生活の中で一人一人が交通ルールを守り、気をつけることが大切なのは言うまでもありません。そのために最も大切なことは、「家族で交通安全について話し合う」ことです。特に一月は、正月休みで一家団らんの時を過ごす機会も多いはずですが、家族が、ふだん交通安全についてどんなことを心がけているのか、話し合い(交通安全家族会



議)を開いて確認し合っているかがてしようか。

**注意事項を
つくってみよう**

家族はお父さんやお母さん、子供やお年寄りなど、さまざまな年代の集まりです。そして一歩外に出れば、交通手段によって歩行者やドライバーなどの違った立場になります。それぞれが、どうしたら身を守れるかを、日ごろの反省をこめて話し合ってください。忘れていることや新たに発見することもあるはず。さらに話しを進めて、年代別や大人と子供別など、それぞれ気をつけなければならぬ項目を、家族でつくってみてはいかがでしょう。また、正月だけでなく、あらゆる機会に話し合

ゆる機会に話し合の場をもち、家族みんなでお話をし合ってください。交通安全事故にあわないよう、また起こさないよう習慣づけたいものです。